

2010年6月5日

会員・関係者 各位

NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会
理事長 川 井 富 枝

NPO 法人化2周年記念“ひきこもり講演会”のご案内

NPO 法人格を取得して、早三年目を迎えました。そして任意団体のオリーブの会発足から八年、その間 月例会（講演会企画運営、家族の学習交流会など）、当事者支援の居場所活動、家族・当事者に対しての相談活動と情報提供、訪問サポート活動などを実施してまいりました。

このたび、**NPO 法人化2周年記念“ひきこもり講演会”**を開催することになりました。（チラシ同封）これは会員の方々の協力はもとより、行政、関係者の皆様のご支援があればこそと感謝申し上げます。

今年4月に施行された「子ども・若者育成支援推進法」が、血の通った「ひきこもり支援」にどのように結びつく法律なのか、具体的に私たちには殆んど理解できていないと思います。また新ガイドラインについても同様に、どのように一歩進んだ支援に繋がっていくのでしょうか。

そこで今回の講師 竹中哲夫（タケナカ テツオ）日本福祉大学名誉教授の「**家族・支援者が共同ですめるひきこもり支援**」一人とつながり、**社会とつながる支援の道筋**—というテーマで講演していただくことになりました。（支援の開始から、長い支援過程を経て支援を終わるまでには、ある程度共通する道筋があり、支援者の立場から「子ども・若者育成支援推進法」に期待することなど。チラシ参照）

また、境泉洋（カイ モトヒロ）徳島大学総合科学部准教授には、法的拘束力をもたない「**新ガイドライン**」が、今後の「ひきこもり支援」にどのような効果をもたらすのか、そして奥山雅久（オヤマ マサヒサ）NPO 法人全国ひきこもり KHJ 親の会代表には、「**障がい者制度改革推進会議**」での長期重篤なひきこもり者の制度加入包含陳述について、また、田口ゆりえ NPO 法人 KHJ 埼玉「**けやきの会家族会**」代表理事には「**家族機能不全**」等の改善に繋がっている「**学習会効果**」についてお話していただく予定です。

本講演会は当会の家族のみならず、一般の関心ある方にも広くご参加を願って、百人百様のひきこもりからの回復の困難さを、また回復後の社会参加の厳しさを少しでも正しく理解をしていただきたく企画したもので、財団法人倶進会より助成を受けての開催となっています。

万障お繰り合わせの上、是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。

（*当日 年会費等も受付けておりますので、よろしくお願いたします。）

【年会費について】

引き続きご入会くださいますようお願いいたします。

また、年会費を5月例会時及びゆうちょ銀行にお払込み頂いた会員の皆様 有難うございました。

年会費は

① 正会員	個人	1口	3000円	1口以上
② 賛助会員	個人	1口	2000円	1口以上
	団体	1口	3000円	1口以上

【今後の月例会】

- 7月25日(日) 香川県社会福祉総合センター (13:30~16:30)
- 8月22日(日) " "

【居場所活動予定】

- 6月12日(土)・26日(土) (13:30~16:00)
パソコン教室(指導 さぬき若者サポステ)・ポパイの会
- 6月12日(土) 松田先生の個人カウンセリング (9:00~13:00)
- 6月20日(日) 講演会参加予定 (13:00~16:45)

【連絡事項】

- ① 6月12日(土)の「パソコン教室」の参加者を募集しています。
見学だけでも結構ですので、本人にお伝えください。
- ② 去年12月に会員の皆様にご協力頂いた、KHJ 全国家族会連合会の「引きこもり」の実態に関する調査報告書⑦が送付されました。今里の居場所においておきますのでご覧になってください。
ニュース「旅立ち」56号にも一部載っています。
- ③ 同じくそのニュース「旅立ち」の中で、厚労省の「ひきこもりガイドライン」が新しく発表され2003年度版よりも一歩進んだもので、詳しいことは厚労省のホームページに載っています。
- ④ 4月上映の映画「アンダンテ」の前売り券販売数は、最終的に214枚でした。
皆さんに御協力いただきありがとうございました。

【5月(5/23)の例会より】

テーマ『ひきこもり者の家族と共に考える支援』

高松市保健所保健センター 精神保健係
保健師 大熊 永子
資料 「応援します こころの健康づくり」

高松市保健センターで保健師をしています大熊です。

先ほど役員さんからご報告がありましたように、最近国からひきこもり者に対するいろいろな動きがありました。新しく法やガイドラインも出ました。でも、地域の行政の中で、どのように組み込まれていくかは地域によって格差があります。家族の方や当事者の方が何を望んでおられるのか、行政だけでなく皆さん方と一緒に考えていかなければならない大事な問題だと思います。今日はこの機会をそのチャンスに出来ればと期待を持って参加しました。

はじめに、わたしが勤務している保健センターでの精神保健の取り組みについてご紹介したいと思います。精神の病気については、以前は一般の方に偏見が強く、治らない病気として、入院させれば良いと考えている方が多くおられました。でも最近は、うつ病については、有名な方がうつ病になったがこ

のように回復したとテレビで体験を語ったり、マスコミで取り上げられることが多くなり身近な病気と
感じられるようになりました。また近年自殺者が3万人を超えているということで問題になっています。
経済状況の悪化が原因のひとつと言われてはいますが、人間は1つだけの理由で死んだりはしません。経
済状況だけでなく、病気や家族の不和などが重なりあい、誰にも相談できず孤立して、眠れなくなつた
り、食欲がなくなったり気力がなくなり、うつ病になり、本当は他に方法があるにもかかわらず、死ぬ
しかないと思いつめ自殺してしまうのではないかとされています。今ストレスの多い時代で誰でも心
の病になる可能性があるということ、それは恥ずかしいことではなく正しい知識と治療、そして周囲の
暖かい見守りによって改善できるのです。

私たちは「心の健康セミナー」の実施や地域に出向いて、うつ病や心の健康についての啓発事業を実施
しています。

また、家族の方を対象に、「統合失調症家族教室」「アルコール問題を考える家族のつどい」を実施し
ています。統合失調症はひきこもりになりやすい10代、20代、30代の若い人に発症が多く、ひき
こもりの原因にもなっています。しかし、病気については本人も親御さんもほとんど知らないことが多
いのです。また、病名を知らされても、診察の場面での説明は少なく、インターネットで調べても具体
的に分かりにくいなどで、どうすればよいのか悩んでおられる家族の方が参加してくれます。家族教室
では、最初の1時間は病気について、薬について、家族の関わりについて、制度の利用などのテーマで
学習し、後半の時間で、家族の思いや現状を1人1人語り合っています。今までいろいろな
家族教室をしてきましたが、講義だけでも、話し合いだけでもなかなか活気づかないのです。1つのテ
ーマについて共に学び、だれにも言えなかった思いや本人のことをみんなの前で語ることで、そして、他
の家族の考え方・苦労の知恵を聞くうちに、孤立していた家族が成長して変わってきて、本にも変化が
みられるのです。いろいろな福祉やサービスも決して十分でない現状ですが、上手な活用方法を学び、
このようなサービスがほしいということになれば行政に働きかけることも出来るのではないでしょ
うか。「アルコール問題を考える家族のつどい」も同じように最初の1時間は病気や関わりについて学習
し、後半は1人1人体験を語り合っています。参加者の中で断酒会などの自助グループにつながり、断
酒できた方も参加していて、他の方は先の光を見ながら少しずつ元気になっておられます。

また、広報誌で「こころの健康相談」を実施していることを市民の方に毎月お知らせしています。心
の病気、ひきこもり、アルコール問題などの相談を受けていますが、ひきこもりの相談は去年度は56
件ありました。家庭訪問しているひきこもりの方は8人で30回訪問していますが、病気のためのひき
こもりの方がほとんどです。ひきこもりで相談される家族の方は、困り果てて相談に来られどうかし
てほしいという思いが強く、具体策がなければ何もしてくれないと思われがちです。相談した時からス
タートで、そこから時間をかけて相談を受ける側も一緒に伴走する事が必要にも関わらず、現状では十
分ではないのです。解決には時間がかかります。ひきこもるということを理解し共に学ぶ場が必要で、
家族がしっかり語り合い、家族が力をつけて変わっていくことが大切です。そして個別の支援の場や若
者が参加する場が必要と思います。今はオリーブの会が唯一その場になっているので、相談に来られた
方に紹介させていただいています。しかし、私たちのところに相談に来られた方にもっと丁寧な支援に
繋げていけるように支援のあり方を構築していかなければと思っています。

県では去年から、「ひきこもりネットワーク検討会」が開かれ、香川県内の関係機関の担当者が集ま
って現状を報告しました。個々には熱心に取り組んでいるのですが、まだまだ連携が十分とれていない
ため、繋がっていけないのが現状です。オリーブの会の会長さんも参加されていますので、今後活
発に論議していける場にしていかなければと思います。

以上

今日は①皆さんが行政に望むもの、②皆さんが個別にどこで相談にのってもらっているか。③オリー
ブの会に繋がった経緯のお話を出来る範囲で聞かせていただければと思います。

(ということで、参加者が順番にお話ししていききました。内容の掲載は控えてほしいとの参加者の希望
が多かったので、以下は省略させていただきました。)